

拠点病院・ベーシックセミナーを開催しました。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業 岡山大学 造血幹細胞移植拠点病院ベーシックセミナー 旅費支給あります

～初めて関わる方へ～ **造血幹細胞移植のきほん**

13:00-13:30 「移植適応と治療の選択」 藤田 謙 医師、血液・腫瘍内科医師
 13:30-14:00 「移植後合併症について」 岩戸 康治 先生 山崎幸十、血液病棟 検査部・血液内科
 14:00-14:40 「移植と食事」 庄野三友紀 当院 臨床栄養部 管理栄養士
 14:40-18:00 「HCTCについて」 清水 雅代 先生 倉敷中央病院 血液治療センター
 18:30-19:00 一問一答への回答

申込方法 申込日 平成30年 7月 31日(火) 申込先 岡山大学 造血幹細胞移植拠点病院 事務局 担当:青藤 雅代
 TEL/FAX: 086-235-7767 E-mail: souketrkyuten@okayama-u.ac.jp

日時：平成 30 年 8 月 11 日（土・祝） 13 – 16 時

場所：岡山県医師会館 2 階 三木記念ホール

参加者 92 名：医師 5 名（血液内科 2 名 眼科 1 名 研修医 1 名 地域病院 1 名）
 学生含めて 看護師 66 名 HCTC 4 名（兼任：看護師 1 名、クラーク 1 名）
 15 職種 管理栄養士 5 名 臨床検査技師 3 名 薬剤師 2 名 理学療法士 1 名
 歯科衛生士 1 名 事務職員 2 名 作業療法士・看護教員・学生各 1 名

参加施設 21 施設

昨年度より立ち上げたベーシックセミナー。移植に全く関わったことのない方でも分かりやすいセミナーを、という目的で今年の 2 月に開催しましたが、今年度は岡山開催セミナーのトップバッターとして、8 月に開催しました。

基礎セミナーはほかにも、看護師研修会があります。昨年は 11 月に看護、その後ベーシックセミナーを開催したところ、

「ベーシックを聞いてから看護を聞いたかった。」

「段々レベルアップしていくセミナーがいい。その方がきちんと理解できる」

といったアンケートの声を多くいただきました。

看護も基礎的な内容でしたが、移植に関わる機会が少ない方にとって、むずかしい部分があったようです。そこで今回はベーシックを聞いて、次の看護でより理解が深められるように企画し、前回ご要望の多かった移植適応や合併症、栄養と HCTC をプログラムに組み込んで開催いたしました。

最初に、浅田 騰 当院血液内科医師より「**移植適応と移植の流れ**」について、造血幹細胞の特徴や、どの幹細胞を使うかによって3つの移植に分かれること、移植前治療にはじまり、造血幹細胞移植、その後の移植後フォローへと続く移植の流れなど、イラストと共にお伝えいたしました。



つづいて、広島赤十字・原爆病院の岩戸康治先生より、「**造血細胞移植後合併症**」についてご講演いただきました。

前回ベーシックセミナーのアンケートで、詳しく聞きたかったトップが移植後合併症でした。そのほかに「**GVHDに関する具体的な症状を知りたい**」「**DLI、GVL効果について知りたい**」など多くのご要望をスライドへまとめてくださった先生。

「ベーシックとしては、詳しくすぎてむずかしいところがあるかもしれませんが、後日、必要な時に思い出していただければとスライドを作成しました。」と仰り、参加者のみなさまも資料を見ながら一生懸命書き込んでおられました。



次に、庄野三友紀 当院管理栄養士より、「**移植後の食事と栄養**」について、感染症と合併症に対する食事と栄養の考え方をお伝えしました。

生着前、生着後、移植後期における合併症、感染症や、食品の安全性について HACCAP や WHO マニュアルのほか、当院給食の取り組みも紹介させていただきました。



最後は倉敷中央病院の HCTC、清水雅代先生に「HCTC について」をテーマにご講演いただきました。

移植医療の特性や、骨髄バンクコーディネーターとの違いなどを挙げられ、HCTC 業務として、ドナーと患者様、患者様とそのご家族の支援、非血縁と血縁ドナーのコーディネートについて、対比をまじえてご説明してくださいました。また、倉敷中央病院におけるコーディネートや移植の連携などもご紹介していただき、他施設での取り組みを知っていただけるよい機会となりました。



今回、講演中の疑問や質問を記載していただいたものを、スライドで表示して、講師のみなさまに回答していただきました。アンケートでは、より理解が深まったと好評でした。

